

2019年7月30日

原料費調整制度に基づく2019年9月検針分のガス料金について

(群馬南地区)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2019年9月検針分の単位料金を、2019年8月検針分に比べ1m³(45MJ)につき1.18円(消費税込)下方に調整いたします。

今回の調整は、2019年4月～2019年6月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に34m³のガスをお使いになる標準家庭で2019年8月検針分と比較して、40円(消費税込)ガス料金が下がります。

2019年9月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)			
1ヵ月の ご使用量	料金表A 0～22m ³	料金表B 23～223m ³	料金表C 224m ³ ～
基本料金 (円/月)	745.20	907.20	2,527.20
調整単位料金 (円/m ³)	119.05	111.81	104.57
(参考) 8月 調整単位料金	120.23	112.99	105.75

2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 34m ³ (45MJ/m ³)	2019年 8月	2019年 9月	増減
適用料金(円/月)	4,748	4,708	▲ 40

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2012年度～2016年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2019年3月～2019年5月 の平均 (8月 検針分)	2019年4月～2019年6月 の平均 (9月 検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	27,450	26,050	▲ 1,400
LNG	57,370	54,270	▲ 3,100
LPG	57,250	56,550	▲ 700
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	100	▲ 1,300	▲ 1,400

- ・LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 54,270 \times 0.4414 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= 56,550 \times 0.0371 \end{aligned}$$

$$= 26,052.78$$

↓(10円未満四捨五入)

$$26,050 \text{ 円/t}$$

■原料価格変動額の算定

$$26,050 \text{ 円/t} - 27,350 \text{ 円/t} = \begin{aligned} &\text{▲ 1,300 円/t} \\ &\downarrow (100\text{円未満切捨て}) \\ &\text{▲ 1,300 円/t} \end{aligned}$$

■単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \text{▲ 1,300 円} / 100\text{円} \times 0.08424^{*1} \\ &= \text{▲ 1.10 円}^{*2} \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.08424(0.078×1.08)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 34m ³ (45MJ/m ³)	2019年 8月	2019年 9月	増減
適用料金(円/月)	4,748	4,708	▲ 40

* 標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

本体料金(税込み)=基本料金(907.20円)

$$+ \text{調整単位料金}(\text{112.91円}) + \begin{aligned} &\text{▲ 1.10 円} \times 34\text{m}^3 \\ &\uparrow \text{単位料金調整額(税込)} \end{aligned}$$

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑

・本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³あたりの単価)を調整する制度です。
- ・「基準平均原料価格(27,350円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.08424円(0.078円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。